

NCGMにおけるCOVID-19 個人防護具マニュアル

2021.1.29改訂

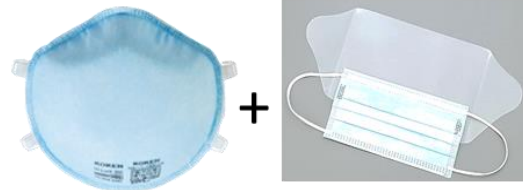


処置やケアをする際は、
1重目の手袋を素手と考え、
2重手袋にし適宜交換する。



黄色のアイソレーションガウンまたは、
袖付きブルーエプロンで可。

N95マスクを装着し、その上
からシールド付きマスクを
装着する。目の保護なので
ゴーグルでも良い。



①ガウンを着る（背部をしっかり合わせる）



②N95マスクを着ける



③鏡でズレがないか確認する。(フィットテストも行う)



注：紐は必ず後ろで結び
前では結ばないこと

⑤手袋をはめる

ガウンの袖の上につけること



⑥

フェイスシールド
付きマスク又は
ゴーグル



④髪が邪魔にならないよう
キャップをつける



サカキ式 ハイラック 350 装着のしかた

①

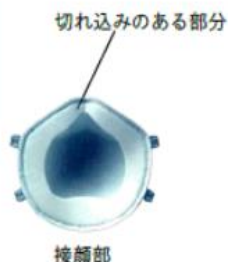


しめひもを2本とも手の甲側にまわし、レスピレーターの内側の接顔部の切れ込みのある部分を指の方にして持ちます。

②



切れ込みのある部分を鼻根に当てるように顔につけます。



③



下側のしめひもを首の後ろにかけます。

④



上側のしめひもを頭上部にかけます。

⑤



上下左右に動かして、顔によくなじませてフィットさせてください。
しめひもの長さを調整する場合は、「しめひもの調節」にしたがってください。装着が完了したらユーザーシールチェックをしてください。

●ユーザーシールチェックについて (装着の都度行ってください)

ユーザーシールチェック (隔壁法)



顔の間から空気の漏れがないかを調べ、正しく装着できているかを確認するために行います。フィルター表面を手で覆って強く息を吐き、レスピレーターと顔の間から空気の漏れがなければ密着性は良好です。空気の漏れが感じられればレスピレーターの位置を直すか、しめひもの調整を行ってください。

●しめひもの調節

締める場合



レスピレーターを装着したまましめひもの先端を引っ張ってください。

緩める場合



レスピレーターをはずして、図のように引っ張ってください。

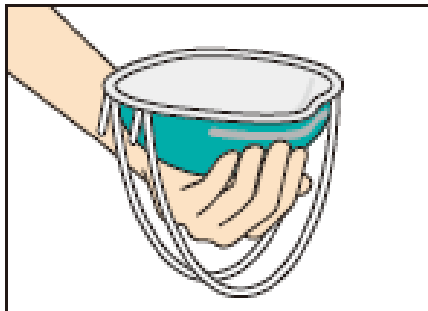
3M™ N95 微粒子用マスク (医療用) 1860/1860S



カップ型

正しい着脱方法

着用方法



1 マスクをパッケージから取り出し、上下を確認します。図のようにノーズクリップを折るほうにして、ゴムバンドが下にたれるように、カップ状に持ちます。



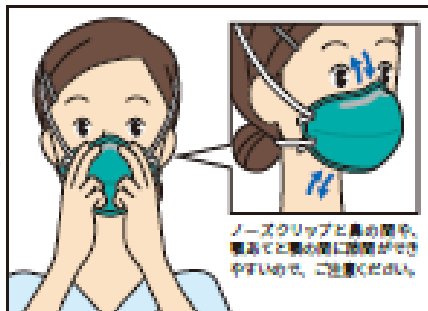
2 ノーズクリップを上にしてマスクが鼻を包むようにかぶせます。



3 マスクをしっかり押さえながら上側のゴムバンドを頭頂部につけます。



4 次に、下ゴムバンドを頭頂部を経て、首の後ろにまわします。鼻あて部と頬の位置を顔に合わせます。



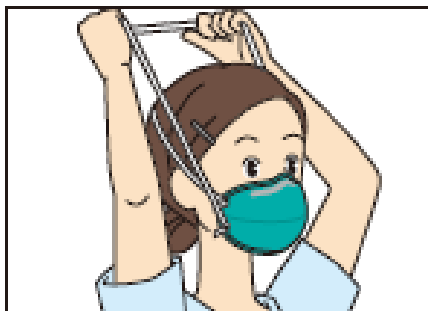
5 両手の指でノーズクリップが鼻に密着するように軽く押し、鼻の形に合わせます。



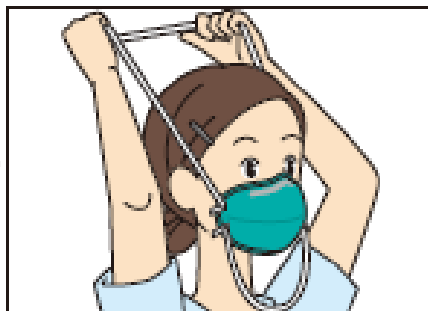
[ユーザーシールチェック]

6 両手でマスクを覆い、空気の漏れをチェックして密着の良い位置にマスクを合わせます。

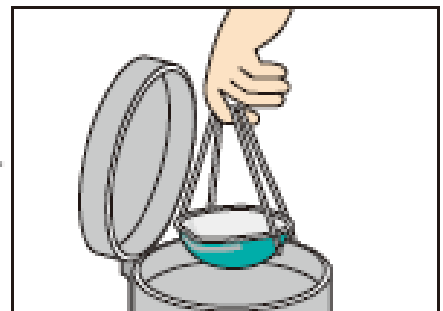
取り外し方法



1 マスク表面には触らないようにして、マスクの首の後ろのゴムバンドを外します。



2 次に頭頂部のゴムバンドを外します。



3 マスクを顔から外し、各施設の規定に従い廃棄または保管してください。

シールド付きマスク以外を使用するとき

シールド付きマスク以外を使用する際は、N95マスクの上からサージカルマスクを装着し、フェイスシールドorゴーグルorマスクに付くアイシールドを装着する。



N95マスクの使用について

1. N95マスクの交換は1日1回とする（ひとり1枚/日）。
ただし、受け入れ病棟以外のスタッフで1日の装着時間が合計1時間以内の場合、交換は1週間に1回とする（ひとり1枚/週）。
2. マスクの汚染や破損があった場合には交換可能である。
汚染の例：気管挿管手技、吸引など、気道への侵襲的処置を行った場合や、患者の血液が飛散したなど。
破損の例：ゴムが切れた、マスク部分が破れたなど
3. N95マスクを外す場合には、ビニール袋などに収めフルネームを記載し、部門毎に場所を決めて保管する。
首や腕にかけて院内を移動しない。



4. マスクの表面が汚染している可能性があるため、着脱の前後で必ず手指衛生を行う。

個人防護具脱衣方法

合間に必ず手指消毒!!

最後にも必ず手指消毒又は手洗いをする!!

- ①手袋（2重手袋の場合とブルーのビニールガウンの場合）
1重の場合は、ガウンと一緒に外す。
- ②ガウン（③の汚染がひどければ②と③の順番は逆でもOK
- ③シールド付きマスク（またはゴーグル）
- ④キャップ ①～④までは病室内で廃棄
- ⑤N95マスク

①手袋の手首に近い縁の外側をつかむ



②手袋の内側が表になるように外す



③手袋着用の手で外した手袋を握る



④手袋の手首の内側に指を入れる



⑤握っている手袋に覆いかぶせて内側が表になるように外す



⑥廃棄後、手洗いまたは手指消毒をする



アイソレーションガウンの脱ぎ方

ひもを外す



表面を引っ張るようにはがす



手袋でガウン表面を外側に丸め込むようにゆっくり脱いでいく。
※アイソレーションガウンの場合、手袋も一緒に外すとよい。

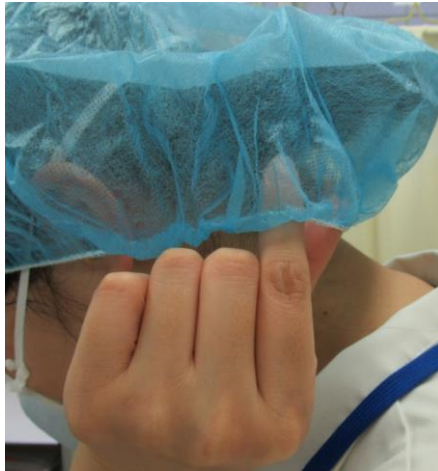


最後は素手でガウン及び手袋の表面を触らないように小さく
まとめて脱着する。最後に手指衛生を行う。

首上PPEの脱ぎ方

最後に手指衛生するまで**顔や髪の毛に触れない**ように注意する

シールド付きマスクの表面を触らないように、ゴムの部分を持って外す。
手指衛生を行う。
キャップを後ろから表面に触れないよう中表になるよう丸めて外す。
手指衛生をして病室を出る。



N95は病室を出てから外す



マスク表面には触らないようにして、マスクの下ゴムバンドを外す。
次に上ゴムバンドを外す。
マスクを顔からはずし、廃棄または保管する。
手指衛生をする。

袖付きビニールエプロンの着脱方法

< つけ方 >

①ガウンを広げて首にかける



②袖を通す



③後ろの紐をしっかりと結ぶ

注：紐は必ず後ろで結び
前では結ばないこと



< はずし方 >

①両手で首にかけた紐の部分を握り、紐を切る



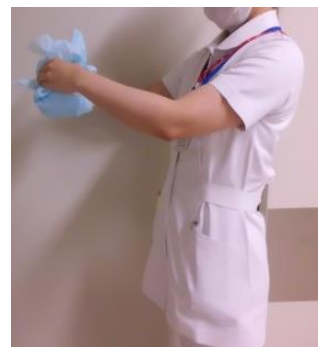
②袖から両手を抜き、汚染面が内側になるように腰の辺りで折りたたむ



③汚染面が内側になるように裾を折りたたむ
その際、汚染面に触れないよう気を付ける



④腰紐をちぎってはずし、小さく丸めて破棄する
手洗いまたは手指消毒をする



首元を守りたいときの防護方法（すぎき式）

※吸引など処置やケア時に病室内で、**COVID 対応の防護具を付けた上から装着**する

こんな感じ（ちょっと怪しい、ちょっと暑い）



※わかりやすくするためブルーのエプロンを使用しています

➤ 使用物品

- ビニールエプロン（白）
- 手袋

➤ 装着手順

- ①ビニールエプロンを半分に折る。
- ②シールドマスクの上から顔を覆うようにかぶせ、後頭部で縛る。
- ③一重目手袋の上に未滅菌手袋装着する（2重にする）。



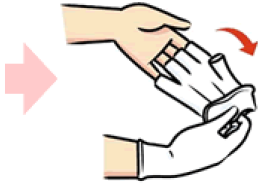
▶ 脱ぐ手順

※ケアや処置が終了したらすぐに脱ぐ

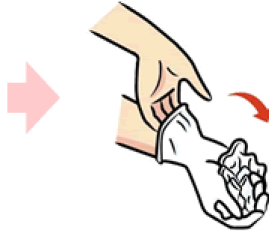
①まず正しい方法で2重目の手袋を外す。



片方の手袋の袖口をつかむ



手袋を表裏逆になるように外す



手袋を外した手を反対の手袋の袖口に差し込む



手袋を表裏逆になるように外す



②後頭部から静かにほどき、裏表になるように折りたたむ



③小さく丸めて破棄する。

